



# インドネシア

日系企業進出数：1,024社  
 面積：1,922,570平方キロメートル（日本の5.1倍）  
 人口：2億2,800万人  
 一人あたりのGDP：2,246.3ドル（2008年）

## 基礎的経済指標

実質GDP成長率	6.1%（2008年）
経常収支（国際収支ベース）	3億ドル（2008年）
貿易収支（国際収支ベース）	229億900万ドル（2008年）
為替レート（期中平均値、対ドルレート）	9,698.96/ルピア（2008年）

【出所】JETRO

## 経済動向

2008年上期はGDPの6割を占める民間消費と輸出に牽引されて年率にして6.4%成長を遂げたものの、下期には世界的な金融危機の影響を受けて製造業の成長が鈍化し、通年では6.1%成長となった。インドネシアのGDPの61%（2008年）は民間消費によるもので、民間消費が経済成長を牽引している。08年は民間消費が高いレベルで推移した。自動車、液晶テレビなどの販売が好調に推移した背景には、中間層の増加が評価されている。

## 株式会社コージン

### 日本で受け入れた研修生が活躍

株式会社コージンがインドネシア研修生の受け入れを始めて、10年以上が経つ。第一期研修生が帰国する際、先代社長は「向こうでは仕事も少ないだろう」と案じたのだと、現社長の小柴雅信氏は語る。研修生達の活躍の場を提供できるということと、ちょうど工場が手狭になっていたこともあり、コージンは日本の1/5の費用で工場が建てられたインドネシアへの進出を決めた。

立ち上げは予想通り苦労を伴ったが、2003年にPT.Kojin.Indonesiaを設立した後は順調に成長を続けている。インドネシアは人口が多く、日系企業は憧れの的であり、従業員は安定している。10年以上もインドネシアと交流のある同社は特に、信頼されている企業に違いない。

PT.Kojin.Indonesiaでは、堅型成形から樹脂製品の仕上げ・組立・検査まで一貫生産を行っている。主にモデルチェンジのない

製品は、日本ではなく人件費の安いインドネシアで製造する。現状では約3分の2が海外顧客との直接取引であり、品質、デリバリー等を全てインドネシアで完結している。また、日本と同様の5S管理を実施しており、ボードでの管理や工程ごとに箱の色を変えるなど、生産と出荷、不良品の見える化に取り組んでいる。ISO9001の取得も、コンサルタントに依頼する事もなく、現地の従業員が自分達の手で成し遂げた。

一番の特徴は、日本で共に働いた研修生がリーダー的役割を担い、まとめていることだ。日本のエンジニアは立ち上げから一年間、在住しただけである。コージンでは日本人従業員も海外研修生も分け隔てなく、自社の会社方針を基準に教育する。研修生達は日本でのモノづくりを経験したことで、ハングリー精神を忘れず、日本と変わらない品質を守っている。また、サブリーダー（リ-

ダー補佐）クラスになれば、日本で短期研修を受ける機会を与えられる。このことは、他の社員達にとって大きなモチベーションとなっている。

「PT.Kojin.Indonesiaは単なる子会社ではなく仲間であることを認識し、お互いに切磋琢磨できるように」という小柴社長の考えから、日本の若手社員も定期的にインドネシアを訪問し、良いところを見習っている。日本の従業員にもインドネシアの従業員にも、自ら考え実践させることで、「自分達で会社を運営している」ということを強く自覚させているのである。

同社は現在も30名ほどの研修生を受け入れている。日本のモノづくり精神を受け継ぐ研修生を育ててきたことがコージンの誇りであり、喜びである。

## 会社情報（日本本社・海外事務所）

会社名	株式会社コージン	エミダス 会員番号	79151
住所	富山県中新川郡上市町森尻5	F A X	076-473-2692
電話番号	076-473-3251		
代表者	小柴雅信		
海外事業所名	PT.Kojin.Indonesia		
住所	Block LL-8-1, MM2100 Industrial Town, West Cikarang, Bekasi 17520, West Java, Indonesia		
資本金	28万ドル		
代表者	黒田義文		
設立	2003年		
従業員数	80名		
電話番号	+62-21-8998-1619	F A X	+62-21-8998-1620
経営内容	堅型成形から樹脂製品の仕上げ・組立・検査まで一貫生産を行っている。		
製品種類	自動車用ボビン、産業用パワー半導体ケース		



コンサルタントなしでISO9001認証取得